

京都大学
熊野寮に
住んでみた

福田桃果

「本書の内容はあくまでも個人の見解で、実際とは異なる部分もあります。名前は全て仮名を使わせていただきました。」

自治、仕事内容、中核派についての詳しい内容は述べていないことを予めご了承ください。」

はじめに

熊野寮について、皆さんはどのくらい知っていますか。全く知らない方もおられるかもしれませんが、この本をわざわざ手に取ってくださっているということは聞いたことはある方が多いのではないのでしょうか。「機動隊が来るところでしょ?」とか「めちゃくちゃ汚いんじゃないの?」とか思っている方も少なくないと思います。残念ながらどちらも事実です。ある日学校から帰ってくると機動隊がいることもあります。入寮して数週間すると熊野風邪をひくと言われています。ですが、そんなところにも四百人を超える人が住み、毎年入寮希望者が絶えません。それはいったいなぜでしょうか。熊野寮には魅力があるからです。

私は熊野寮に入寮して三年目を迎えました。一年目は、とにかく知らないことがいっぱい、たくさんのことに興味を持ち、いろんなところに首を突っ込んでみました。今まで知らなかった世界が広がっていて、うきうきワクワクしていました。熊野寮にはたくさんの出会いがあります。夜通し人生や人間、恋愛、そのほか様々なことについて話し合っていて、今まで知らなかった価値観や考え方に触れ、刺激を受け、そして自分自身の考え方も影響

を受け変化し育ってきました。

そして、二年目は寮生活の楽しさだけでなく、嫌な面も見えてきました。一人の空間がないから、泣きたい時に泣く場所がない。秘密にしておきたいことも知り合いが多い分目撃されていたり、電話の声を聞かれていたりとプライベートは筒抜け。寮生の無意識なヒエラルキーの確立。たくさんの人と密度濃く関われるこの空間だからこそその嫌な面でした。人間関係が面倒になって、(今日は誰にも会いたくない)と思っても廊下を歩けば誰かにすれ違ふし、ご飯を買いにコンビニに出かけようとするだけで何人もの寮生と顔を合わせることになる。こういった点が私は本当に嫌だと感じました。

そして、三年目。私はやっぱり熊野寮に住んでよかったなと感じています。なぜなら、実は私はこの二年目に気づいた寮生活の欠点に助けられていたんじゃないかと思うようになったからです。泣きたいときに一人で泣く必要はなくて、誰かの前で泣けばいい。プライベートが筒抜けでも、そこからまた新たな意見をもらって考え方が変わる時だってある。反対に秘密を隠しておくスキルが上がる人もいるだろうけれど。そして、ヒエラルキーの中でうまく生きていく術というのは、社会に出るうえでも必要になることです。会社などのコミュニケーションでの人間関係の築き方の練習だと思えば、こんなにもいい環境の練習場は

ありません。ふさがぎ込んでしまっている時も、誰かに会うことで自分の社会性が保たれているのです。誰とも話したくないときに知り合いに会って、流れで話さなければならなくなって、話しているうちになんだか気が楽になっていた。そんな経験が皆さんにもあると思います。

このように、今まで過ごしてきた寮生活の中で、嫌なこともたくさんありましたが、熊野寮に入ってよかったと思えることもたくさんありました。まだ三年目のペーパーですが、わたしなりに寮生活で感じてきたことを皆さんにお伝えして、少しでも熊野寮の魅力を感じていただけたら幸いです。

二〇一八年九月

福田 桃果

目次

―熊野寮―	8
それは月4100円（光熱費・水道代込み）で住むことができる、 京都大学の学生寮。圧倒的な汚さと楽しさを誇る。	
〈入寮オリエンテーション〉	16
〈SC新歓〉	22
〈熊野寮の概要〉	28
〈ブロック新歓〉	42
〈ピザ窯新歓〉	46
〈くまのまつり〉	52
〈KMN48〉	58
〈蛍〉	64
〈寮生大会〉	66
〈誕生日プレゼント〉	72
〈寮食〉	80
〈七夕コンパ〉	90
〈寮内恋愛〉	98
〈寮祭の準備〉	102
〈KMN48 NF ver.〉	112
〈寮祭〉	124
〈友人の死〉	142
〈新年度の新歓〉	150
〈お墓参り〉	154

—熊野寮—

それは月4100円（光熱費・水道代込み）で住むことのできる、
京都大学の学生寮。圧倒的な汚さと楽しさを誇る。



京都大学「熊野寮」外観

生に案内され中に進み、椅子と机がたくさんある広い場所に案内された。

私の他にも同時に面接が行われているようだった。私の前に寮生と思われる男女二人が座った。女性は紙をもって何やら書き込んでいて、男性が私に話しかけてきた。一人が説明係、もう一人は書記係のようだ。男性から文字がびっしり書かれた数枚のプリントを渡され、「まず一ページ目を読んでください。読み終わったら教えてください。」と言われた。

目の前で書類に何か、おそらく私の第一印象などの評価が書き込まれているのを見て一気に緊張していた私は、

—熊野寮—

それは月4100円（光熱費・水道代込み）で住むことのできる、
京都大学の学生寮。圧倒的な汚さと楽しさを誇る。

熊野寮の入寮面接にやってきた。

熊野寮の外観は、とにかく自転車が大量にあるがそれ以外は案外普通の集合住宅のような建物である。だがよく見ると、門ではなく窓が開かれており、そこを出入り口として利用しているようである人が行きかっている。少々戸惑いながら門へと近づくと、そこには「見学希望の方、寮生に御用の方は事務室へ」という文字が書かれた看板があった。ベニヤ板を真っ黒に塗った後、おそらくハケで書いたのであろう白の文字。独特な雰囲気と味を醸し出しているその看板に圧倒されながら、私は熊野寮の門をくぐった。

入ってすぐ右手に受付があり、まずはそこで提出書類の確認を行った。その後、寮

文字は追うものの内容の三割ほどしか頭に入ってこなかった。それでも、指示されたところまで目を通し読み終わりましたと告げた。そうすると、説明係がもう一度かみ砕いて説明してくれた。これをプリントが終わるまで繰り返し、熊野寮が自治寮であり、自治とはほ・に・や・ほ・に・や・な（忘れた）ものであり自治を守り続けるために与えられた仕事はきちんとやりましょうということを教えてもらった。

そうして一通りの説明が終わり、どんな部屋がいいかという話になった。私は非常に朝が弱く、目覚ましをかけたうえで寝坊して目覚ましが開かなくてと言った。私に言うた。そしたら「あー、まあ寮生みんな朝弱いって、大丈夫」と言われてあっさり終わった。

その後、書記の女性の方が、「ダンス好きなの？」と言ってきた。趣味を書く欄にダンスと書いていたのが目に留まったらしい。「あ、はい、そうです」と言うと、「私もダンス好き！ えー入ったら一緒に踊ろう！」と言われた。その勢いに押され「あ、そ、そうなんです、はい」と微妙に間の抜けた返事を返してしまった。

その後は今後の日程、手続きについて説明を受けて、面接が終わり、次は寮内を見学させてもらうことになった。実は入寮を検討していた際に一度見学させてもらっていた。共用の炊事場にあるコンロが汚すぎて衝撃だったから覚えている。炒めている間に落ちたのであろうしなびたキャベツがコンロの周りに落ちていて、火力を調節するつまみは油でギラツと光っていた。というわけで一度見ていたからそんなに大して新しい発見はなく、自分がこれから住むであろうこの劣悪な環境を再確認して終わった。

数日後、寮から入寮面接の結果を知らせる電話がかかってきた。

「合格です。今後の手続きについて説明させていただきます。」

なるほど。ついに熊野寮に入るのか。正直特別入りたいたいわけでも入らないと困る事情もなかったその程度の感想しか湧かなかった。手続きの説明を聞き、お礼を言っただけで電話を切った。横で母は複雑そうな顔をしていた。だが、数分後、また電話がかかってきた。

「申し訳ありません。こちらの手違いで先ほど合格の電話をしてしまったのですが、本当は落選でした。本当に申し訳ありません。」

おわりに

最後まで読んでくださってありがとうございます。

熊野寮の魅力を少しでも感じていただけましたか？

この文章を読んで、熊野寮に興味を持っていただけたら幸いです。

最後に、熊野寮に興味を持ち、京都大学に入りたいと思ってくださった方のために、私の合格体験記を載せましたので、読んでみてください（この文章は『私の京大合格作戦 2017年版』に掲載されたものです）。

夢へ近づく第一歩 最後まで京大合格を諦めない

★冷めた性格だった小学校時代

まず、私がどんな子供だったか、小さい頃の勉強の話を交えてお話させていただきます。

私は、私立の小学校に入れてもらっていました。小学校のお受験は、子供ながらにプレッシャーを感じた記憶があります。でも、この教育熱心な小学校に入ったおかげで、結果的に私にも一流大学に行くという選択肢が生まれたのだと思います。

小学校の頃の私を一言で表すと、「冷めた子供」でしょうか。

幼稚園の頃からクラシックバレエを習っていたのですが、友達から遊びに誘われても面倒くさいので、レッスンがあるうとなかろうと「バレエあるから行けないねん」と断るような嫌な子供でした。

また、周りがたまごっちなどのゲームにはまったりしていても、「何が面白いのかなあ……」と一歩引いたところから見えていましたし、よく見るテレビ番組は？ と聞かれると

■著者プロフィール■

福田 桃果 (ふくだ ももか)

1997年 奈良県に生まれる。

奈良県内の中高一貫校卒業後、2016年に現役で京都大学医学部人間健康科学科入学。入学と同時に熊野寮に入寮し、サバイバルな生活を満喫している。

京都大学熊野寮に住んでみた

2018年10月20日 初版第1刷発行

著者 福田 桃果

編集人 清水智則／発行所 エール出版社

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12

電話 03(3291)0306

FAX 03(3291)0310

メール info@yell-books.com

*定価はカバーに表示してあります。

乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

© 禁無断転載

ISBN978-4-7539-3432-4